取扱説明書

紙折機　　　ＬＦ－８１１Ｎ

ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよく
お読みください。また、いつでもお読みになれる
よう保管場所を決めて、大切に保管してください。

●ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。

●[安全上の注意]に使用されている絵表示の例。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。(左図の場合は高温注意)

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。(左図の場合は分解禁止)

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)

安全上の注意

⚠ 警　告

●	アース接続してください。 漏電した場合、感電を防止します。
⃠	この機器は５０Ｈｚと６０Hz で別仕様です。周波数が仕様外の場合、火災・故障の恐れがあります。 交流１００Ｖで使用してください。電圧が高すぎたり低すぎたりする場合、火災・故障の恐れがあります。
	この機器の上に物をのせないでください。機器内部に水･異物が入った場合，火災･漏電の恐れがあります。
	電源コードの扱いには十分注意してください。 傷付ける・破損させる・加工する等の行為はしないでください。火災・感電の恐れがあります。 重量物をのせないでください。火災・感電の恐れがあります。 プラグやコードを無理に曲げないでください。火災・感電の恐れがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
⃠	この機器のカバーは外さないでください。感電やケガの恐れがあります。
	この機器を改造しないでください。火災・感電の恐れがあります。
●	発熱していたり煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントからぬいてください。そして販売店にご相談ください。
	電源コードが熱を持ったり、異臭がするなど異常があったらすぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントからぬいてください。そして販売店にご相談ください。
	異物が機器に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。
	雷が近づいてきたら、落雷による火災・故障を防ぐためコンセントを抜いてください。

⚠ 注　意

⃠	髪の毛・ネクタイ・ネックレスなどを駆動部にたらさないでください。けがの原因になります。
	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。
	湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因になります。
	電源プラグを抜くときは､必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になります。
	本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因になります。
	連休等で、本機を使用にならない時は安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

はじめに

ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
この「取扱説明書」は、必要な時にいつでもお読みになれるように、保管場所を決めて大切に保管してください。
この製品は改良のために、仕様を変更する場合があります。このため、同一製品においても「取扱説明書」の記載内容が異なる場合がありますので、製品ごとの「取扱説明書」を混同して使用しないでください。

目次

１．　設置前の注意事項

１．１　設置場所の確認

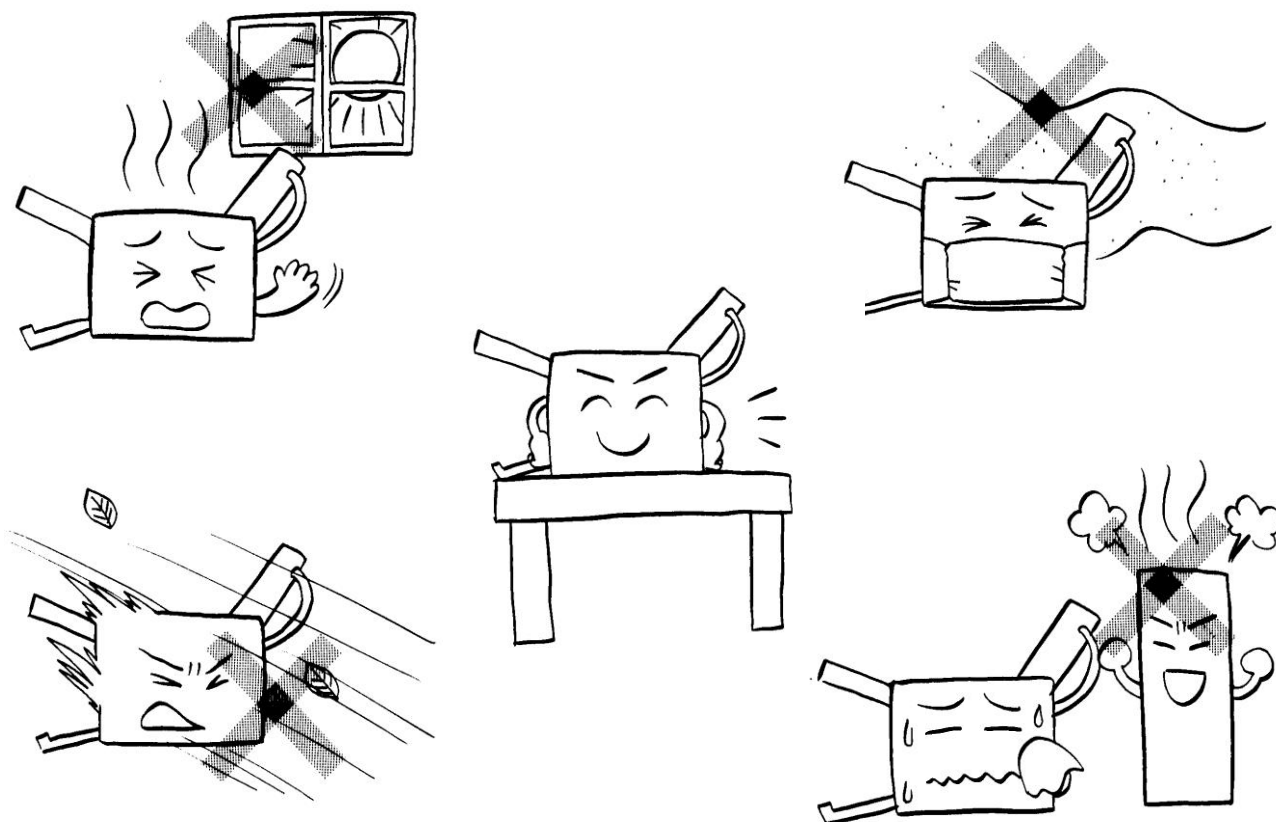
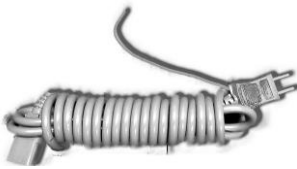
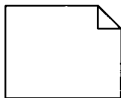
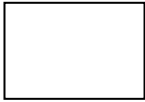
次の条件を満たした場所に設置してください。

・直射日光の当たる場所に設置しないでください。

・窓際は避けてください。

・湿気やほこりの多い場所は避けてください。

・風の当たるところ、熱を発生する機器付近での使用は避けてください。

・丈夫で水平な台又はテーブル上に設置してください。

１．２　搬入時の注意

・衝撃や激しい振動が製品本体に加わらないようにていねいに取り扱ってください。

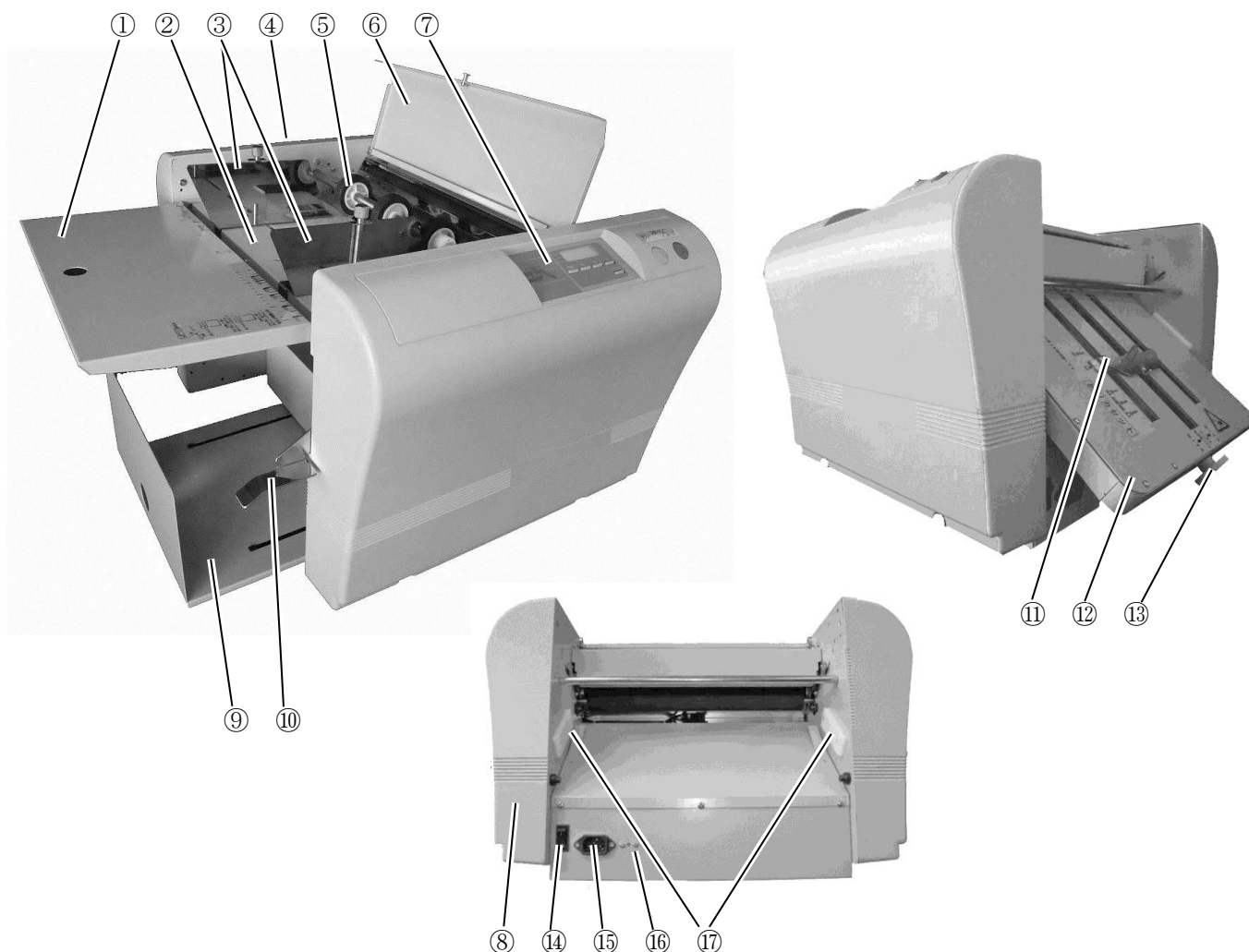
・保護手袋をし、２人で底面４隅をしっかり持って運搬してください。

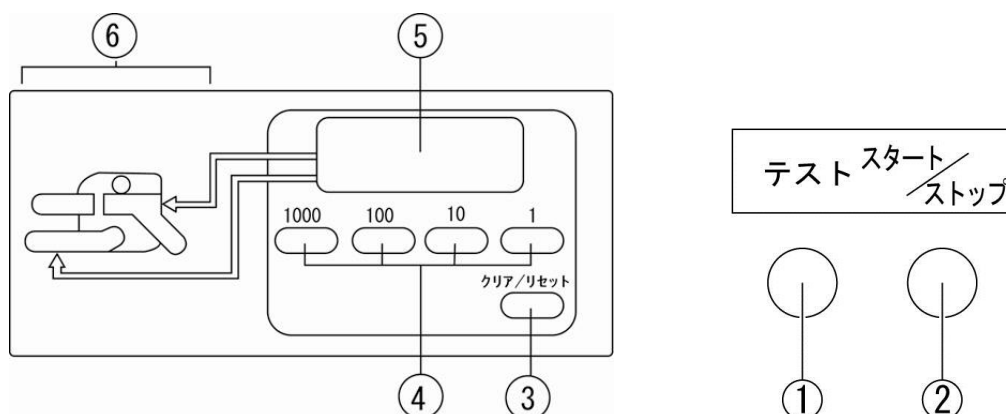
1.3　付属品の種類・数量の確認

開梱したら、付属品の確認をしてください。
万一不足していたらすぐに販売店に連絡してください。
また、保証書の記入をお願いします。

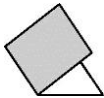
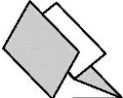
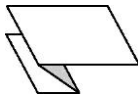
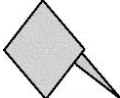
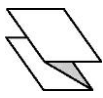
付属品	個数	図
折りカセット	1	
電源コード 注意：形状は異なる場合があります	1	
機械カバー	1	
取扱説明書	1	
簡易マニュアル	1	
保証書	1	

２．　製品各部の名称

２．１　外観

番号	名　称	はたらき	番号	名　称	はたらき
①	補助テーブル	大きい用紙を支える	⑩	給紙テーブルレバー	給紙テーブルを上下させる
②	給紙テーブル	用紙を載せる	⑪	折り位置ガイド	折り位置を決める突き当て
③	用紙ガイド(右/左)	給紙時の曲りを防止	⑫	折りカセット	用紙を折る
④	左化粧カバー	メカ部の保護	⑬	ストッパー微調整ツマミ	折りずれを修正
⑤	給紙ローラー(3 個)	用紙を１枚だけ給紙	⑭	電源スイッチ	電源の入・切
⑥	安全カバー	開けると動作が停止	⑮	インレット	電源コードをつなぐ
⑦	操作パネル	枚数設定など	⑯	ブレーカ	過電流保護
⑧	右化粧カバー	メカ部の保護	⑰	サイドガイド(右/左)	折りカセットのセット用ガイド
⑨	排紙テーブル	折った用紙を蓄える			

２．２　操作パネルシート部

番号	名称	はたらき
①	テストキー	テスト折りを２枚（カウンタに影響なく２枚のみ折る）
②	スタート／ストップキー	スタートとストップ
③	クリア／リセットキー	カウンタをクリア/エラーをリセット
④	数字キー	減算カウンタ時枚数を入力
⑤	カウンタ	枚数を表示
⑥	エラーマップ	紙詰まり・スリップ・ジャムが発生時、発生場所を表示

３．　特に注意していただきたいこと

３．１　用語の定義

３．１．１　マーク解説

注意！　　注意していただきたいことです。

ポイント！　　知っていると便利なことです。

３．１．２　用語・折形解説

名　称	解　説
ジャム	用紙が機械内部で詰まること
重送	２枚以上重ねて給紙すること
スリップ	用紙が送り込まれないこと
原位置	折りカセットの折り位置ガイドがいちばん左側にあること （微調整ツマミを右に見たとき）
さばく	用紙どうしがはりついている状態をはがすこと

図					
折　形	２つ折り	４つ折り	片袖折り	内３つ折り	外３つ折り

図の着色部は、給紙テーブルに用紙を下向きにセットしたときに折られた状態です。

３．２　特徴および使用目的

・操作が簡単です。

・プリセットカウンタ（枚数表示を繰り返す）により必要枚数をすばやく折ることができます。

・用紙の断裁が曲がっていた場合および斜めに折られたときに曲がりを補正する機能として斜行調整ツマミがあります。

・紙詰まり・スリップ・用紙が「０」になったときには、「エラーマップ」上に発生場所を表示します。

・２つ折り・４つ折り・片袖折り・内３つ折り・外３つ折りができます。

３．３　使用しないとき

・電源プラグをコンセントからはずしてください。

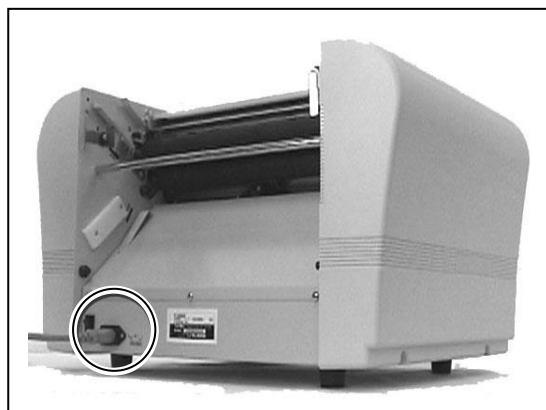
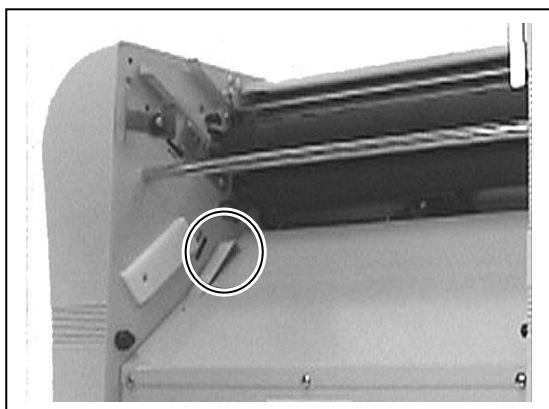
・機械カバーを掛けてください。

３．４　使用上の注意

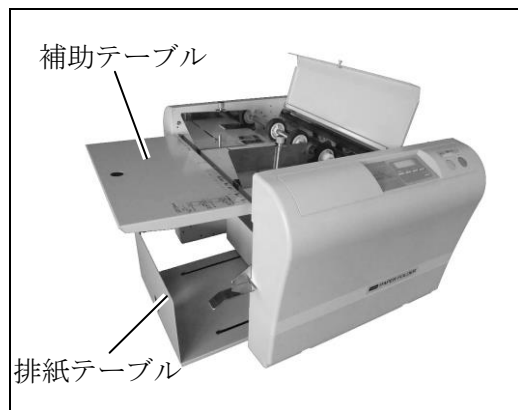
・安全カバーの開閉はツマミを持ってください。用紙ガイドにはさまれる恐れがあります。
・特に重要な書類は事前に折りテストをし、折り位置の確認をしてください。
・理由を問わず、用紙の折ずれ・破損の補償はご容赦ください。

４．　使用前の準備

４．１　付属品を取付ける

（１）電源コードをインレットに差し込みます。

（２）折りカセットを取り付けます。

突起部分に折りカセットを滑らすように矢印方向斜め４５度程度の角度で差し込みます。

⚠　注　意	
	折りカセットが正しくセットされているか確認してください。 外れてけがの原因になります。

（3）排紙テーブルを引き出し、補助テーブルを持ち上げるようにしてセットします。

（4）電源コードをコンセントに差し込みます。

注意！

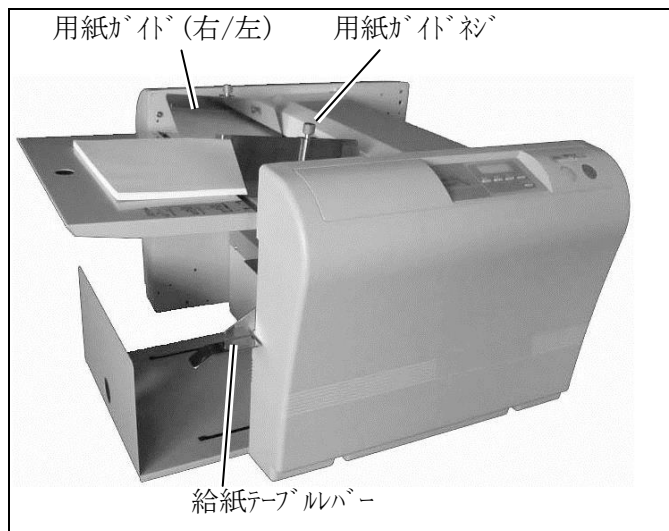
・必ずほどいて使用してください。
・付属の電源コード以外は使用しないでください。
・電源コードのアース線は必ず接地（アース）してください。
・電源コードのプラグ形状は異なる場合があります。
・接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。又、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

⚠ 警　告	
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の恐れがあります。
	電源コードのアース線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。 火災・感電の原因になります。

（5）電源スイッチをオンにします。

５．　使用方法

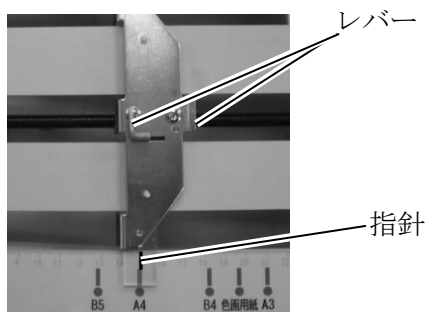
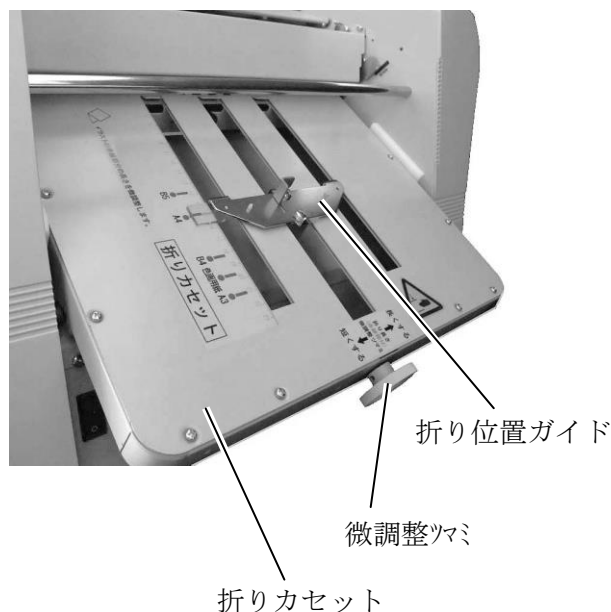
５．１　規格用紙（Ａ３・Ａ４・Ｂ４・Ｂ５等）の２つ折り

（1）給紙テーブルレバーを上げて、給紙テーブルを下げます。
（2）用紙ガイドネジをゆるめて用紙ガイド(右/左)を使用する用紙の目盛りに合わせます。
（3）給紙テーブル上に用紙をきれいに揃えて積みます。
（4）用紙ガイドと用紙の隙間が無いようにして用紙ガイドネジを締めます。
（5）給紙テーブルレバーを下げて用紙をセットします。

注意！

・印刷直後の用紙はジャム・重送・スリップ・用紙のシワの原因になりますので乾いてから使用してください。

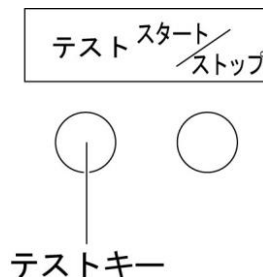
・用紙をセットするときは、印刷面に注意してください。用紙のセット状態と折られた状態は、9ページ「３．１．２　用語・折形解説」の表を参考にしてください。

・用紙ガイドと用紙の間に隙間があると折りずれの原因になります。

（6）折り位置をセットします。
＜２つ折り編＞
折り位置ガイドの中央のレバーを指で挟み、折り位置ガイドの指針を任意の位置に合わせます。

17 ページ**「５．５．２　１回目・２回目折りの微調整」**参照

（７）試し折り

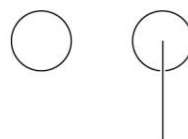
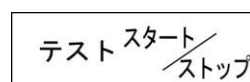
「テスト」キーを押すと、２枚折ります。
２枚目の折った用紙で仕上がりを確認します。
出てきた用紙の下の面が折りカセットで決まる長さです。
折りずれが発生する原因
・ローラーの汚れ
・用紙ガイドのセットが曲がって固定されている、又は用紙ガイドと用紙の間に隙間が有る。
・給紙テーブルが曲がっている
・用紙の裁断が曲がっている
折りずれを修正する場合
→　17 ページ**「５．５　調整」**参照

<u>調整のポイント！</u>
ずれた長さの１／２を調整します。

例)
下の面が上の面より２㎜ 長い場合、折りテーブルのストッパープレートを１㎜ 短い方向に移動させてください。

⚠ 注　意

	ローラーなどの駆動部には絶対に手を触れないでください。 けがの原因になります。
	髪の毛・ネクタイ・ネックレス等をローラーなどの駆動部にたらさないでください。 けがの原因になります。
	安全カバーを開閉する場合は必ず「電源」を切ってからにしてください。電源が入っているとローラーなどに手や指が挟まりけがをします。

（８）連続折り

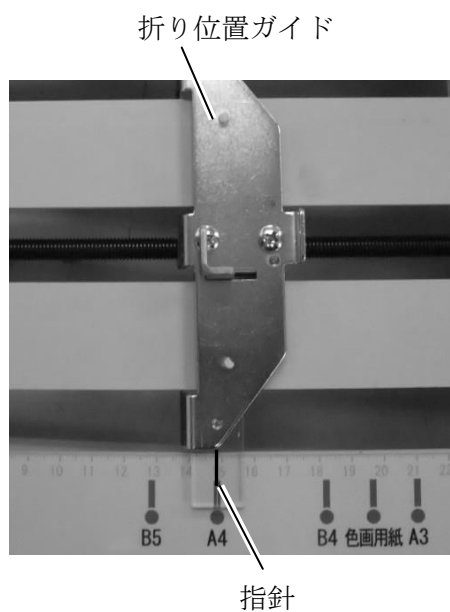
「スタート/ストップ」キーを押すと、連続して用紙を折ります。動作中に、もう一度押すと停止します。
カウンタは加算していきます。
「クリア」キーを押すと、カウンタは「０」に戻ります。
希望枚数のみ折りたい場合
→　18 ページ**「５．６　カウンタ」**参照

５．２　２つ折り以外の折り方

本機は２つ折り専用機ですが、一度折った紙を再度折ることにより内３つ折り・外３つ折り・４つ折り・片袖折りもできます。

・折り位置ガイドのセット位置を参照いただき、１回目、２回目の折り位置を用紙サイズ毎に調整してください。このとき、用紙セットの向きに注意してください。

（１）用紙をセットします。

（２）折り位置をセットします。

指針

折り位置ガイドのセット位置（単位は㎜、Ｌは用紙の全長を表します）

※この表はおおよその目安の数値です。

用紙サイズ	2つ折り	4つ折り		片袖折り		内3つ折り		外3つ折り	
折り形	2つ折り	4つ折り		片袖折り		内3つ折り		外3つ折り	
1回目折り時の用紙セット方法		印刷面		印刷面		印刷面		印刷面	
2回目折り時の用紙セット方法		印刷面		印刷面		印刷面		印刷面	
完成		印刷面		印刷面		印刷面		印刷面	
折り位置ガイドセット位置	1回目折り	1回目折り	2回目折り	1回目折り	2回目折り	1回目折り	2回目折り	1回目折り	2回目折り
規格寸法外用紙の場合のストッパープレートセット位置	1/2L	1/2L	1/4L	1/4L	1/4L	1/3L	1/3L	1/3L	1/3L
Ｂ５（２５７）㎜	128.5	128.5	64.5	64	65	85.5	86.5	85.5	86.5
Ｂ４（３６４）㎜	182	182	91	91	92	121	122	121	122
Ａ４（２９７）㎜	148.5	148.5	74.5	74	75	99	100	99	100
Ａ３（４２０）㎜	210	210	105	105	106	140	141	140	141

※２回目折り時は折り目をよくしごいてから折ってください。

※片袖折り・内３つ折り・外３つ折りの場合の２回目折りは１回目折り時より長さを１㎜長く表しています。（１回目折り時の折り返しを防ぐため）

＜例＞B4　全長 364 ㎜の場合

４つ折り　　1回目折り　　1/2L　1/2×364＝182 ㎜

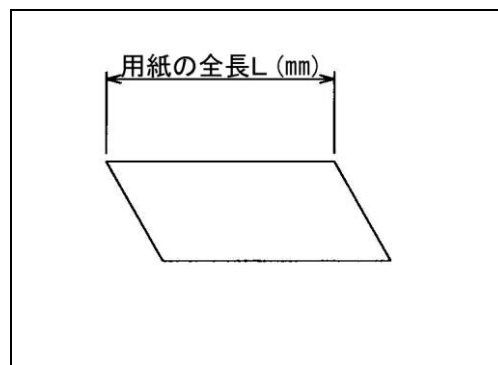
　　　　　　2回目折り　　1/4L　1/4×364＝91 ㎜

内３つ折り　1,2回目折り　1/3L　1/3×364＝121.3 ㎜

　　　　　　1回目折り　121 ㎜

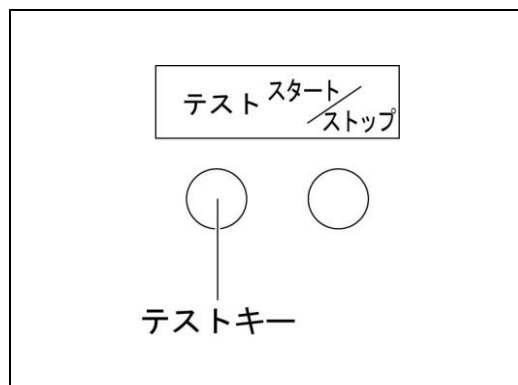
　　　　　　2回目折り　122 ㎜

　　　　　　(1回目折り時の折り返しを防ぐため 2 回目折りは１㎜長くします)

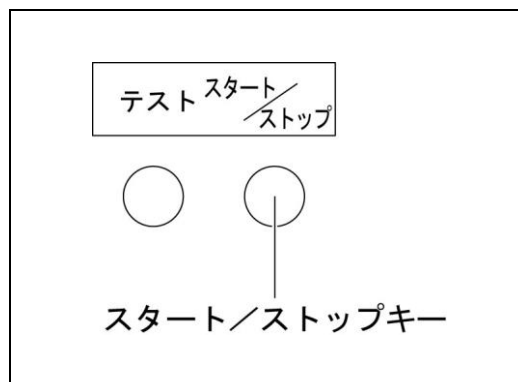
（単位　㎜）

		２つ折り	４つ折り	片袖折り	内３つ折り	外３つ折り
最大に折れる寸法	1回目折り	２２４	２２４	２２４	２２４	２２４
	2回目折り	—	１１２	—	２２４	２２４
その時の用紙の全長		４４８	４４８	８９６	６７２	６７２
最小に折れる寸法	1回目折り	—	４０	４０	５０	４０
	2回目折り	４０	４０	—	５０	４０
その時の用紙の全長		８０	１６０	１６０	１５０	１２０

５．３　ショート給紙モード（小さな用紙を折る場合の特殊機能）

Ａ６やＢ７サイズの小さな用紙を給紙する場合、
連続して折られる現象が発生したときに使います。

・操作方法
　①電源をオフにします。
　②「テスト」キーを押しながら電源をオンにします。
・電源を一度切って、再度電源を入れ直したときは、通常状態に戻ります。

５．４　ロング給紙モード（スリップが多発する場合の特殊機能）

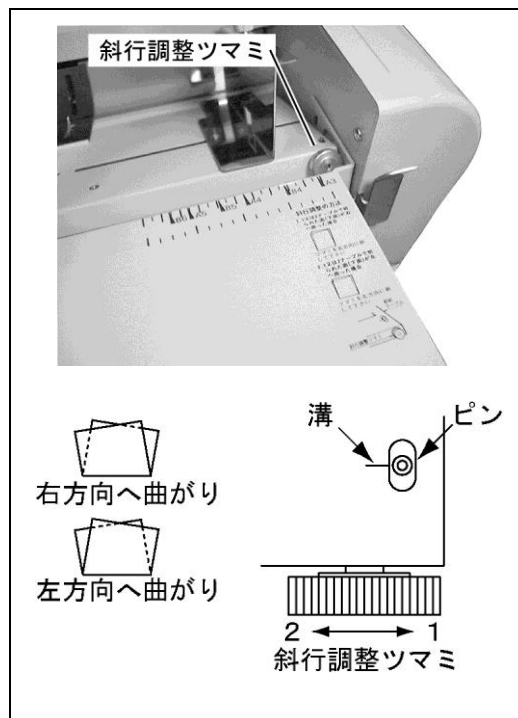
特に厚手の用紙を給紙するときは、スリップが多発する場合があります。そのときにこの機能を使うとスリップの発生を減少させることができます。

・操作方法
　①電源をオフにします。
　②「スタート／ストップ」キーを押しながら電源をオンにします。
・電源を一度切って、再度電源を入れ直したときは、通常状態に戻ります。

５．５　調整

５．５．１　斜行調整

用紙裁断時の曲がり、その他の要因で折り合わせが曲がっている場合は、斜行調整ツマミで曲がりを修正することができます。（基本位置はピンが溝のある中央にあります）

排紙された状態のまま見て、用紙の下面が右へ曲がった場合は斜行調整ツマミを右方向１へ、左へ曲がった場合は左方向２へまわしてください。
※万が一斜行の曲がりが発生した際は、まず用紙ガイドと用紙の間に隙間がないか確認してください。

注意！
・用紙をかえた時は、斜行を調整し直してください。
・作業後は斜行調整ツマミを基本位置に戻してください。

５．５．２　１回目折り・２回目折りの微調整

※折り形の図は排紙テーブルに出てきた用紙を操作パネル側から見た状態で表しています。

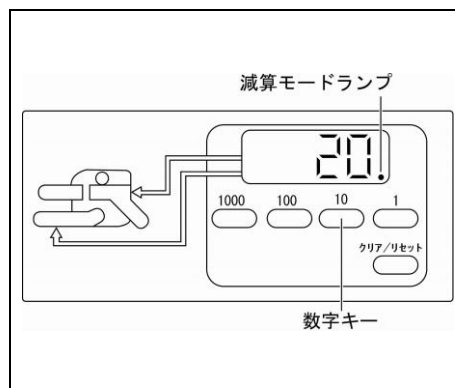
	折り形	２つ折	内３つ折	外３つ折	４つ折	片袖折
一回目折	紙折りの状態 （実線の長さを調整します）					
	実線部が長い場合	短	短	短	短	短
	実線部が短い場合	長	長	長	長	長
二回目折	紙折りの状態 （実線の長さを調整します）					
	実線部が長い場合		短	短	短	短
	実線部が短い場合		長	長	長	長

５．６　カウンタ

（1）加算モード：１枚折るごとに、カウンタが１ずつ増えます。

「クリア/リセット」キーを押し、カウンタを０にします。

（2）減算モード：１枚折るごとに、カウンタが１ずつ減ります。

「クリア/リセット」キーを押し、カウンタを０にします。
希望の枚数を「数字」キーで入力します。
（ここでは２０枚とします。）
減算モードランプが点灯します。

５．７　エラー表示・状況・対策

次のような時、機械は自動的に停止します。

表　　示	状　　況	対策
	①用紙が無い状態でスタート/ストップキーを押した時	①用紙をセットする
	②給紙テーブルレバーが上がっている状態でスタート/ストップキー･テストキーを押した時	②給紙テーブルレバーを下げる
	③減算モードで動作中に用紙がなくなった時	③用紙を補充する
	④給紙スリップ発生時	④用紙セパレーター･給紙ゴムローラーの清掃又は交換 19 ページ「６．２日常のお手入れ」、20 ページ「６．４用紙セパレーター･給紙ゴムローラーの脱着」参照
	⑤折りカセット内で紙詰まり発生時	⑤折りカセットを外し詰まった紙を取除く※
	⑥安全カバーが開いている時	⑥安全カバーを閉める
	①排紙テーブル満杯時	①排紙部の紙を取る
	②排紙部紙詰まり発生時	②紙詰まりを取り除く
	③排紙センサーが汚れている時	③排紙センサーの清掃

※折りカセットを外しても、詰まった紙が取り除けない場合は、ローラーカバーを外して詰まった紙を取り除いてください。19 ページ「６．２　日常のお手入れ」参照

６．　保守・点検・消耗品

６．１　点検・お手入れ時の注意事項

⚠ 警　告

点検・手入れ時には電源プラグをコンセントから抜いてください。
けが・感電の恐れがあります。

６．２　日常のお手入れ

・折りローラーに紙粉やホコリがたまると紙折りに支障をきたす場合があるので、使用しない時は機械カバーをかけてください。

・折りローラーに紙粉及び印刷物のインクが付着するとシワ、紙詰まり等トラブルの原因になるので定期的にゴムローラー専用クリーナー※と布切れを用いて清掃してください。

・折りローラーは１本ずつ、ゴムローラー専用クリーナーを浸した布切れで力いっぱいこすり、何も汚れが取れなくなるまで拭いてください。

・折りローラーを清掃する際は、ローラーカバーを外して行ってください。

・紙粉及び印刷物のインク等が給紙ゴムローラーや用紙セパレーターに付着すると給紙性能が低下し、紙詰まりやスリップの原因になるのでゴムローラー専用クリーナーを用いて清掃をしてください。

・外装部の汚れはアルコール又は清掃用クリーナーを使用してください。
溶剤系の洗浄液は変色の原因になるので使用しないでください。

※ゴムローラー専用クリーナー　ＬＧ－ＣＬ５００　：注文コード　８４６－２４

６．３　消耗品について

製品に使用されている給紙ゴムローラー、ブレーキゴム、用紙セパレーターは消耗品です。
交換が必要な場合は、お買い求め販売店までご連絡ください。

６． ４　用紙セパレーター・給紙ゴムローラー・ブレーキゴムの脱着について

給紙ゴムローラーと用紙セパレーターを交換する際は、下記の要領で取外しを行ってください。

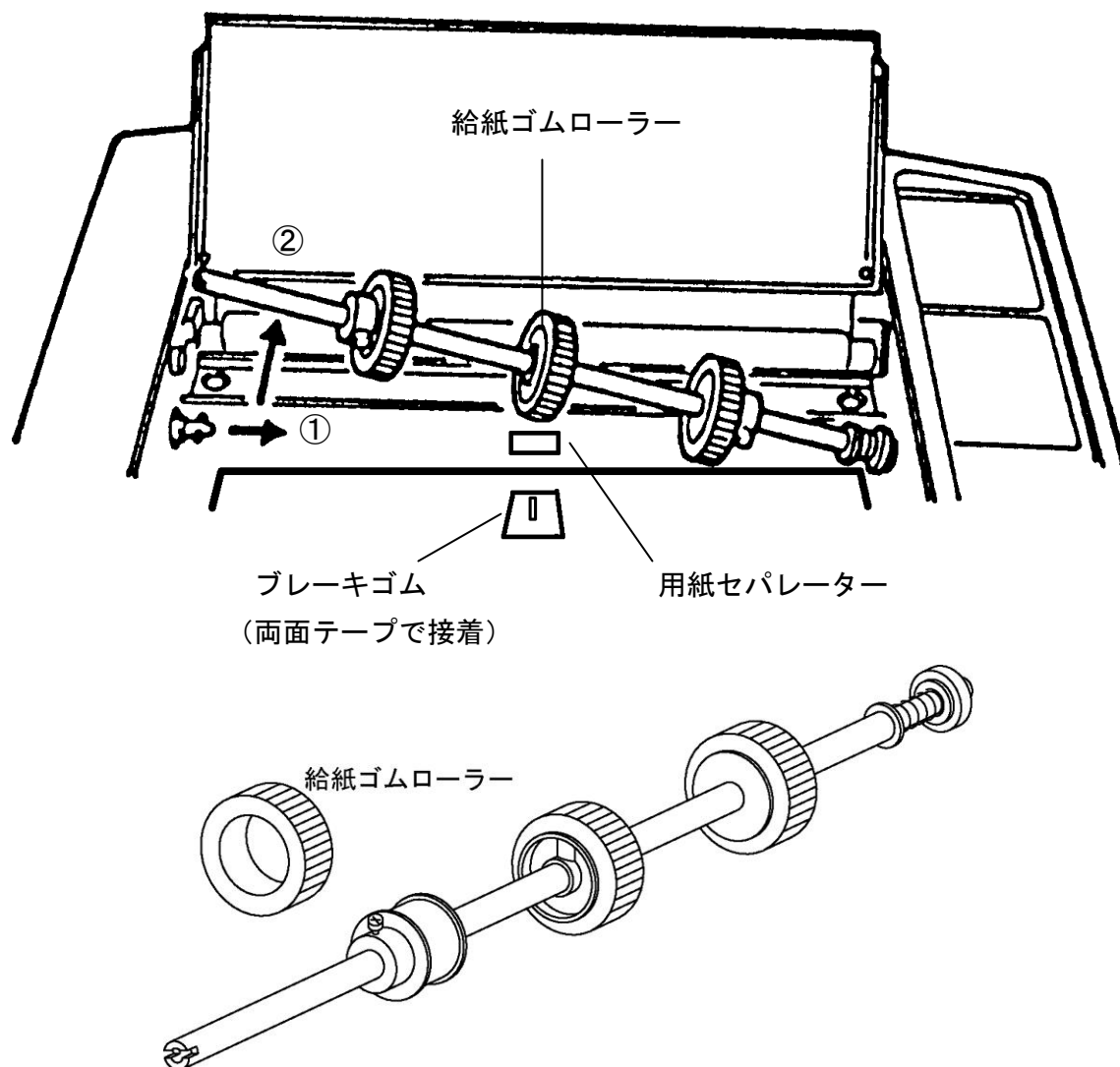
給紙ゴムローラー

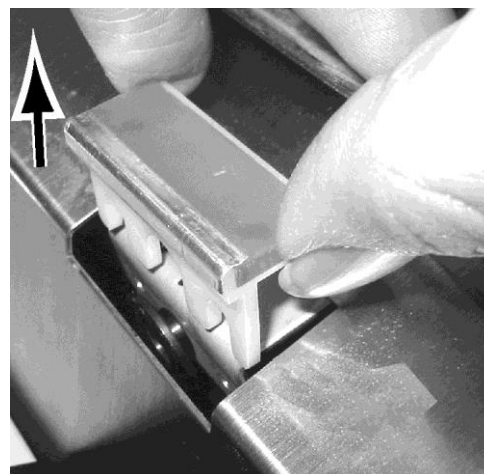
②

①

ブレーキゴム
（両面テープで接着）

用紙セパレーター

給紙ゴムローラー

用紙セパレーター（樹脂付）の両端を持ち、引き抜きます。
取付は逆の要領で行います。

上記部品はご購入の販売店へご発注ください。

７．　トラブル時の処置

７．１　トラブルの内容と処置

現　象	原　因	処　置	参　照
折りずれが生じる	微調整がされていない	微調整ツマミで折りずれ修整	5.5.2　1 回目折り・2 回目折りの微調整
	折りローラーが汚れている	折りローラー清掃	6.保守・点検・消耗品
	用紙ガイドのセットが曲がっていて固定されている又は用紙に密着していない	用紙ガイドを用紙に密着させる	
	給紙テーブルが曲がっている	斜行調整ツマミで給紙テーブルをまっすぐにする	5.5.1 斜行調整
	用紙の裁断が曲がっている	斜行調整ツマミで調整する	5.5.1 斜行調整
	反っている用紙を使用している	用紙交換または（可能であれば）裏返す	
紙詰まりが多発する	折りローラーが汚れている	折りローラー清掃	6.保守・点検・消耗品
	折りローラーが正しくセットされていない	折りローラーを正しくセットする	
	仕様外の用紙を使用している	仕様内の用紙を使用する	
	折りカセットが正しくセットされていない	折りカセットを正しくセットする	4.1 付属品を取付ける
	用紙通過部に紙片が詰まっている	各部点検し紙片を取り除く	
	給紙ローラーが汚れている	給紙ローラー清掃	6.保守・点検・消耗品
	静電気の異常発生	市販の静電気除去スプレーを吹きかける	
	印刷直後で湿っている	乾いてから使用する	
スタートキーを押しても給紙しない	給紙テーブル上に用紙がない、少ない	給紙テーブル上に用紙をのせる	
	安全カバーが開いている	安全カバーを閉じる	
	排紙フォトセンサーが汚れている	排紙フォトセンサー清掃	6.保守・点検・消耗品
	用紙セパレーターON・OFF レバーが OFF になっている	用紙セパレーターON・OFF レバーを ON にする	
シワが生じる	折りローラーに紙片が巻きついている	折りカセットを外して折りローラーの紙片を取除く	
	折りローラーが汚れている	折りローラー清掃	6.保守・点検・消耗品
	仕様外の用紙を使用している	仕様内の用紙を使用する	
	印刷直後の用紙のはりつき	用紙をよくさばくかインクが乾いてから紙折りをする	
	折りカセット内での紙詰まり	折りカセットを取り外し紙片を取除く	
	折りテーブルが正しくセットされていない	折りテーブルを正しくセットする	4.1 付属品を取付ける
	用紙のコシが弱い	折りカセットの折り位置を短い方に微調整する（1～2 ㎜程度折り重ねが発生する	

現　象	原　因	処　置	参　照
	薄口で反っている用紙を使用している	用紙交換または（可能であれば）裏返す	
	印刷直後で湿っている	乾いてから使用する	
電源スイッチをＯＮしても電源が入らない	電源コードのプラグが外れている	電源コードのプラグを確実に差し込む	4.1 付属品を取付ける
	ブレーカが働いている	紙詰まり等の原因を除いてからブレーカボタンを押す	
排紙ジャムが多発する	排紙ローラーの位置が用紙サイズに適した位置にセットされていない	排紙ローラーを最適な位置にセットする	
	排紙満杯	用紙を取り除く	
給紙スリップが多発する	用紙セパレーターON･OFF レバーが OFF になっている	用紙セパレーターON･OFF レバーを ON にする	
	給紙ローラーが劣化している（ヒビ割れ等）	給紙ローラー交換	6.保守･点検･消耗品
	給紙ローラーが摩耗している	給紙ローラー交換	6.保守･点検･消耗品
	給紙ローラーに紙粉やインクの汚れがある	給紙ローラー清掃	6.保守･点検･消耗品
	仕様外の用紙を使用している	仕様内の用紙を使用する	
	用紙セパレーターが汚れている	用紙セパレーター清掃	6.保守･点検･消耗品
	給紙テーブルの用紙積載量が少ない	用紙は２０枚以上セットする	
	用紙セパレーターが摩耗している	用紙セパレーター交換	6.保守･点検･消耗品
	６０Ｈｚの機械を５０Ｈｚで使用している	周波数設定を変更する	
重送が多発する	用紙セパレーターが摩耗している	用紙セパレーター交換	6.保守･点検･消耗品
	用紙セパレーターが汚れている	用紙セパレーター清掃	6.保守･点検･消耗品
	印刷済用紙が密着している	用紙をよくさばいて再セット	
	仕様外の用紙を使用している	仕様内の用紙を使用する	
	５０Ｈｚの機械を６０Ｈｚの地域で使用している	周波数設定を変更する	
	用紙のカールが大きすぎる	カールを矯正	
紙折れが生じる	微調整が正しくセットされていない	微調整を正しくセット	5.5.2　1 回目折り・2 回目折りの微調整
	折りカセットが正しくセットされていない	折りカセットを正しくセットする	4.1 付属品を取付ける

７．２　故障の場合

修理が必要な場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

８．　移設または廃棄するとき

８．１　移設

８．１．１　旧設置場所からの撤去作業

・電源スイッチを切る
・電源プラグをコンセントから抜きとる
・折りカセットを外す
・補助テーブルを外す
・排紙テーブルをしまう

８．１．２　運搬

・取り外した部品や付属品、取扱説明書を一緒に運ぶ。
・強い振動や衝撃を与えないようにする。
・保護手袋をし、2 人で底面 4 隅をしっかり持って運搬する。

８．１．３　移設先での設置

・新設の場所と同様、すべての作業を行ってください。
・旧設置場所と電源周波数が異なる場合は、使用できません。
　周波数設定が必要になります。お買い求めの販売店までご連絡ください。

８．２　廃棄

廃棄する際は、各地方自治体の政令に従い産業廃棄物処理業者に依頼するなど、適切な処理をしてください。

９．　製品仕様

９．１　仕様

用　紙　寸　法	Ｂ７（９１×１２８㎜）～Ａ３（２９７×４２０㎜） Ａ６・Ｂ７は４つ折り・片袖折り不可
用　紙　質　量	４５～１０５g／㎡（２つ折りのみ１５２g／㎡） ４０～９０㎏（２つ折りのみ１３５㎏）
紙　　　　質	更紙・上質紙・上質孔版紙・中質紙 上記の紙質であっても、一度折った紙や印刷機、コピー、プリンター等による熱によってカールしている状態・波を打っている状態などの紙では、うまく折れない場合があります
折　　　　形	２つ折り・２回折りにより４つ折り・内３つ折り・外３つ折り・片袖折り・その他変形折り
折　り　寸　法	最大折り寸法 折りカセット１：３２２㎜ 折りカセット２：２１６㎜
	最小折り寸法 折りカセット１：５２㎜ 折りカセット２：４４㎜
給　紙　方　式	３輪式サバキ方式
排　紙　方　式	ローラー３段階位置手動切り換え
給 紙 積 載 量	５００枚（上質紙６４g／㎡）
処　理　速　度	５０Ｈｚ／６０Ｈｚ　　Ａ４　２つ折り　８０００／９２００枚/時 Ｂ４　２つ折り　７０００／８０００枚/時
操　作　方　式	手動設定方式
付　加　機　能	斜行調整・紙詰まり検知・４桁カウンタ・ジャムマップ表示
消　費　電　力	５０Ｈｚ　６８Ｗ　　６０Ｈｚ　９３Ｗ
使　用　電　源	１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
機　械　寸　法	Ｗ６８０×Ｄ５３０×Ｈ３７０㎜（使用時） Ｗ５２５×Ｄ５３０×Ｈ３７０㎜（収納時）
機　械　質　量	２３．９㎏

本機の仕様及び外観は改良のため、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

取扱説明書

紙折機　ＬＦ－８１１Ｎ

修理・その他ご不明な点については、お買い求めの販売店もしくはお客様相談室へご連絡ください。

お客様相談室
〒１６４－０００３　東京都中野区東中野２丁目６番11号
ＴＥＬ　フリーダイヤル　０１２０－０７４４１６
ＦＡＸ　フリーダイヤル　０１２０－４０２５３９

株式会社ライオン事務器

本　　社	〒164-0003	東京都中野区東中野２丁目６番11号	TEL03-3369-1111
東京本店	〒103-0004	東京都中央区東日本橋２丁目24番14号	TEL03-3865-1211
大阪本店	〒577-8560	大阪府東大阪市長田中３丁目５番44号	TEL06-6747-5681